まゆっこ

2024年 新年号
（2024.1）

ゾーン・サポートきぬの郷
多機能型通所支援事業所：　まゆ
保育所等訪問支援事業所：　つむぎ
相談支援事業所：糸ぐるま

　この文章を書いているのは2023年の年末ですが、皆様のお手元に届くのは2024年になって数週間が経っている頃と思います。どのような年末年始をお過ごしでしたか？
　数年前の年末、私の子どもが入院してしまい、付き添いのため年越しを病院の簡易ベッドで迎えたことがありました。こんな年越しを迎えるなんて・・・と落ち込みましたが、年越しやお正月に勤務していらっしゃる看護師さんなどの職員さんのおかげで急変にも安心できることや入院している同じ境遇の方を思うと、勝手に同志のように感じて落ち込みが少し和らいだことを覚えています。
　さて、今年はどんな一年になるでしょうか？入学や卒業をされる方、新成人を迎える利用者様やごきょうだいの方、就職や定年を迎えるご家族様もいらっしゃるでしょうか。利用者様と周りの関わる皆様が幸せを感じられる一年になればいいなと思います。普段のちょっとしたことに幸せを感じることができるよう心がけたいと思っています。今年もよろしくお願いいたします。

社会福祉士　大阿久英嗣

　Yさんは高校を卒業し、18歳になったタイミングで、わずかに動く左手の親指と視線入力でお母さんに伝えました。「私の夢は私の夢。お母さんはお母さんのやりたいことを探してね。」お母さんは「自分がやりたいことって何だろう」と考えました。そしてお母さんにしかできないやりたいことを行うことで、現在は悩んでいる人の力になっています。そしてYさんご自身も自立の手段を確立しながら、夢をかなえています。子供の力は無限大で天才だと感動しました。
　私も両親に対して幸せに笑顔で過ごしてほしいと願っています。きぬの利用者様たちは心が純粋で優しく、ご両親が大好きなのできっと、もっともっとご両親の幸せを願っていることと思います。ご両親が笑っていてくれることが何よりの安心感につながるということをYさんの言葉に気付かされました。
　今年も利用者様と大切な一日一日を過ごすことが出来ることを大変うれしく思い、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も利用者様・ご家族様が笑顔で過ごすお手伝いが出来たら幸いです。

看護師　浅川智子

　12月4日より高崎市総合福祉センターから異動になりました鈴木です。
　さわらびでは通所に勤務していたこともあり、以前関わっていた多くの方々や訓練を担当していた方々と再びお会いすることが出来て驚きと共に嬉しさが沸き上がりました。初めての勤務地で不安がありましたが、利用者の皆様に不安を和らげて頂きました。
　これから利用者様に安心して任せていただけるように日々精進し、またプラスアルファの関わりが出来るようにと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

作業療法士　鈴木　敏子

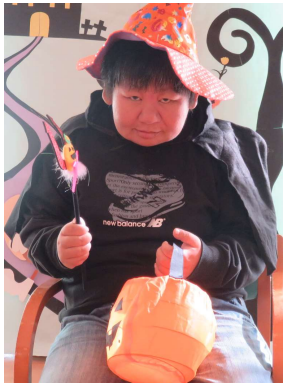
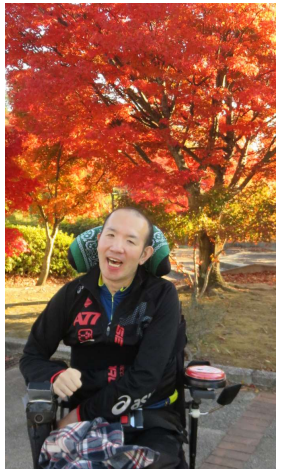
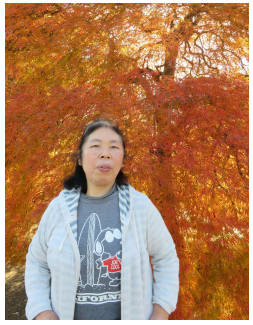
　利用者様、ご家族の皆様いつもお世話になっております。
　私事ではありますが、一身上の都合により1月末をもって退職する事になりました。1年と4ヶ月と短い期間でしたが、皆様のご指導のもと楽しく働くことができました。直接ご挨拶ができず申し訳ございません。今まで大変お世話になりました。ありがとうございます。

看護師　髙橋里子

誕生日会

クリスマス会

ハロウィン



紅葉狩り